



おのみ



令和3年度 12月号
志布志市立尾野見小学校

続やまなし

学校長 宗岡 克英

先月の学校だよりで、6年生の国語の教科書に掲載されている宮沢賢治の作品「やまなし」を紹介しました。その童話にカニが登場していましたのでふとこの時期に捕れる山太郎ガニのことを思い出しました。

「ひょっとしたら大続川にも山太郎ガニがいるかもしれない。」

そこである秋の日、大続川にカニを捕るためのかご網を仕掛けてみました。以下の文章は、その時私が体験した出来事です。題して「続やまなし」とします。

仕掛けたかご網を引き上げると小さなカニがかかっていた。小躍りした。一目で子どものカニだとわかった。



かご網を仕掛けていた川底をのぞき込むと一匹の大きなカニがいた。私が見た瞬間そのカニはすっと左側に動いた。そして止まった。川底の砂の上に静かに止まった。緑色がかかったおうど色の大きな甲羅が目に入ってきた。私は、その大きなカニが子ガニの親であることを直感で理解した。そして、かご網に閉じ込められた子ガニのそばに親ガニがずっとついてあげていたことも。親ガニの緑色がかかったおうど色の大きな甲羅がそう語っていた。親ガニはそのことを私に伝えるとゆっくりと岩陰に隠れていった。スルスルと。私は親ガニから責められているような気持ちになってきた。親子を引き裂いた罪悪感で心がいっぱいになった。

子ガニはかご網の隅っこで動かないでじっとしていた。私が網の中に手を入れるとカサカサと逃げ回った。

私は子ガニを逃がすことにした。

「逃がしてやるからどうかじっとしていてくれ。」と思いながら逃げ回るカニの甲羅をそっと指で押さえた。子ガニは足を網に絡みつ

かせ、なかなか離れようとしなかった。足がもげないようにゆっくりと子ガニを網から引き離した。そして岩場の上に子ガニを置き、ゆっくりと指を離した。子ガニは自分の身に何が起きたのか理解できないようでしばらく動かないでじっとしていた。そしてしばらくすると子ガニは小走りですぐ川の中に入っていった。大続川は静かに流れていた。

子ガニは親ガニに会えただろうか。きっと会えたに違いないという確信が私にはある。私の想像をはるかに超えた力でカニの親子はつながっていることを感じたからである。大続川は知らぬ顔をして静かに流れていた。



自然は多くのことを教えてくれます。私はこの大続川での体験から、親子の絆の深さを学びました。親ガニの緑がかかったおうど色の大きな甲羅がずっと私の目に焼きついていきます。そして私を底深い川底の世界へ導いた宮沢賢治の童話「やまなし」に感謝します。

もうすぐ冬休みに入ります。初日の出を拝んだり、初詣に行ったりして新鮮な気持ちになることでしょう。また、自然と触れ合う機会もあると思います。どうぞ有意義な冬休みをお過ごしください。

◇ 『人権の花』運動閉校式 ◇

令和3年度の志布志市の『人権の花』運動推進校として指定され、4月から様々な活動を通して思いやりの心や優しい心を育ててきました。そして、一年間の取組の締めくくりとして12月3日(金)に閉校式を迎えました。閉校式では、『人権の花』運動で行ってきた取組を振り返ったり、各学年代表の児童が人権標語の発表をしたりしました。特に、あらかじめ作成していたぼかぼかカード(友達のよいところや感謝の気持ちを伝えるカード)を読み上げながら交換する活動では、照れくさそうな表情を浮かべながらも、ニコニコと笑顔の花が体育館いっぱいに溢れました。校内の掲示板にあるぼかぼかカードの木には「脩斗さんいつもみんなを笑顔にしてくれてありがとう。ぼくも、脩斗さんの一言で助けられたことがあります。これからもソフトなどを一緒にがんばろう!風邪をひかないように。武蔵より」のように、心温まるメッセージがたくさん貼られています。書いた人も受け取った人も、それを読んだ人の心まで優しさで満たされるそんな尾野見小の児童の姿に、まさに人権の花が満開に咲きほこっているように思います。また、12月12日(日)の南日本新聞の若い目に児童代表あいさつをした5年生の長野姫華さんの投稿「人権の花ヒマワリ」が掲載されていました。「声をかけあって、いつでも助け合える学校になるように、『人権の花』運動で感じたことや学んだことを大切にしながら学校生活を送りたいです」と締めくくられていました。このような思いが、これからもずっと尾野見の伝統として受け継がれていくことを祈ります。



◇ 入賞・受賞おめでとう ◇

2学期もたくさんの表彰がありました。おのみっ子の活躍があらゆる場面で輝いています。3学期も色々なことに挑戦し、努力を重ねましょう。皆さんの活躍を楽しみにしています。

- ・地区図画作品展 特選 芝田琉唯さん(3年生)
- ・市作文審査会 特選
 - 木之下果実さん(3年生)
 - 増田湊斗さん(4年生)
- ・子ほめ条例
 - あいさつ賞
 - 梅本杏琳さん, 川野陽平さん(6年生)
 - 学芸賞 小玉 武蔵さん(6年生)
 - スポーツ賞 園田 脩斗さん(6年生)
 - ボランティア賞 中山 賢悟さん(6年生)
 - 友情賞 福留 愛嘉さん(6年生)
- ・第26回仲よしちびっ子ソフトボール大会第3位
- ・第38回始良旗争奪戦ソフトボール大会 優勝
- ・第38回肝属地区スポーツ少年団ソフトボール根占大会 優勝
- ・第3回香月志布志ソフトボール大会 優勝
- ・第12回税に関する絵はがきコンクール学校賞



◇ 「心の教育の日」授業参観・学級PTA ◇

11月29日(月)～12月3日(金)は校内人権週間でした。今年度は、12月3日(金)を「心の教育の日」とし、思いやりや正義感、命の尊さ、自分や友達のよさ等について考える道徳の授業参観を実施しました。なかなか道徳の授業を見る機会がないこともあり、当日は保護者の関心も高く、多くの来校をいただきました。各学級では、役割演技を取り入れて疑似体験をしながら相手の立場や思いを考えたり、日頃の自分の行動を振り返ってどのように行動するかを考えたりするなど工夫された道徳の授業が展開されました。家に帰られた後、お子さんと心を育むたくさんの会話がはずんだのではないのでしょうか?1月14日(金)の第8回家庭教育学級では、県人権同和教育課の黒川先生をお招きして、「子どもの自尊心を育てる親の言葉かけ」について講話と演習を行います。ぜひ、多くの皆様の参加をお待ちしています。

